

観て 聴いて 考えよう！ 映画&講演会 連続企画実現！

映画「TRASHED -ゴミ地球の代償」 & 講演「プラスチックによる海洋汚染のいま」

講師 高田秀重さん（東京農工大学農学部 環境資源科学科教授）

使い捨ての容器やペットボトル、レジ袋、電気機器、繊維製品...
身の回りにあふれるプラスチック。70年ほど前に登場し、
世界で年間約3億トン生産されています。

いま、廃棄されたプラスチックが世界中の海洋を汚染し、
貴重な生態系を侵していることが、国際的な問題となっています。

映画と、先駆的に問題を告発した高田秀重先生のお話で
現状を知り、取り返しがつかなくなる前に、
ともに考えていきましょう。

日時：2016年4月3日（日）

1回目 10:00～映画上映会

11:45～講演会（約1時間）

（2回目開場時間 12:50）

2回目 13:00～映画上映会

14:50～講演会（約1時間）

会場：府中グリーンプラザ6階

大会議室（府中駅北口徒歩1分）

参加費：500円

主催 府中・生活者ネットワーク

共催 生活クラブ運動グループ・府中地域協議会



映画「TRASHED - ゴミ地球の代償」(公式サイトより抜粋)

ゴミの環境汚染問題は他の誰でもない人類の責任だが、その代償を払うのは地球上に住む全ての生物なのだ。

レバノンの海岸線、そこにそびえ立つのは家庭ゴミや有害産業廃棄物、注射針などの医療器具、そして動物の死骸が折り重なって出来たゴミの山だ。それらは美しい海へと垂れ流され、汚染を広げている。数十年の無計画なゴミの放置による結果はあまりにも醜く深刻だ。

アカデミー賞受賞俳優ジェレミー・アイアンズは、世界中に自ら足を運びその過酷な汚染の現場を本作に収めている。昔と違って現代ゴミは複雑になっている。例えば海の中に広がる汚染物質のダイオキシンやプラスチックの粒子。プランクトンにも見えるそれらを魚たちが餌にしていることは言うまでもない。...

ゴミは容赦なく地球の寿命を縮めている。(2012年カンヌ映画祭特別上映作品)

高田秀重教授(東京農工大学農学部 環境資源科学科)プロフィール

1959年東京生まれ。07年より現職。主な著作に『環境汚染化学』(丸善出版)『環境ホルモンの最新動向』(ブックレビュー社)『東京湾 100年の環境変遷』(恒星社厚生閣)などがある。海洋学会岡田賞・水環境学会論文賞・環境化学会学術賞など受賞多数。環境汚染の解析が専門であり、廃棄されたプラスチックの海洋汚染や環境ホルモン、ごみ処理のあり方に警鐘を鳴らしてきた。医薬品による水汚染問題について日本で最初に取り組んだ1人でもある。



お申込み、チケットのお問い合わせは、府中・生活者ネットワークまでご連絡ください。

〒183-0023 東京都府中市宮町 2-15-1

TEL 042-360-4443 FAX 042-360-4462

e-mail : fuchu-snet@ric.hi-ho.ne.jp <http://fuchu.seikatsusha.me/>

生活クラブ運動グループ・府中地域協議会とは...大量生産、大量消費を促す浪費型経済の社会ではなく、環境保全を重視し、使用価値を優先させた生産と消費が地域の中で循環していく、地域循環型経済の社会づくりを推進している、生活クラブ生協組合の活動から生まれた地域の団体の集まりです。(参加団体...生活クラブ・まち府中、ワーカーズ・コレクティブ椀もあ、たすあいワーカーズぽぽ、ワーカーズ・コレクティブふるぽの工房、環境まちづくり NPO エコメッセ府中運営委員会、府中・生活者ネットワーク、ワーカーズ・コレクティブ轍サンズ)